

永井柳太郎 （照る） 政治家、劇作家。明治十四年四月十六日石川縣生れ、昭和十九年十一月十四日歿（八八一―一九五五）。明治二十八年早稲田大學卒。翌年イギリス留學、歸國後早大教授。大正九年衆議院議員（當選八回）、昭和六年と憲政政黨幹事長。拓務相、逓信相、鐵道相等歴任。十五年脱黨して新體制運動を推進、翌年大政翼賛會興亞局長に就任。教育評論家永井道雄はその次男。

著書『英人思ひ出の記』（明治四十二年八月）二十八年實業之（日本社）、『社會問題と植民問題』（大正元年十一月十五日本新興社）、『殘飯―青年諸君の瀕り』（大正二年六月）千二百南北社）、『東經正義・朝鮮問題講演録』（合著、大正十一年十一月一日自由討究社「鮮滿叢書」）、『現代支那事情の研究』（合著、昭和二年九月十五日本阪屋號書店）、『ゴダッドストーン』（昭和四年五月一日實業之（日本社））、戯曲『大隈重信』（昭和七年十一月十日日本雄辯會講談社）、『修養講演集』（合著・法話會編、昭和十二年五月五日法話會、交通新報社）、『私の信念と體驗』（決定普及版、昭和十四年二月十六日岡倉書房）、戯曲『錢屋五兵衛』（昭和十四年十月二十日新潮社）、『永井柳太郎氏興亞雄辯集』（大日本皇道奉賛會編、昭和十九年六月）二十日大日本皇道奉賛會、龍吟社創の事務所）等。

